

平成 22 年 4 月 20 日



森づくり集団「<sup>しほり</sup>葉」事務局通信 Vol.19 号

【今月のお知らせ】【今月の活動報告】【次回の活動予定】【今月のレポート】  
【お知らせ/募集】【編集後記】



第 2 フィールドのこぶしの花、花の脇に 1 枚葉が付きます。

【今月のお知らせ】

平成 22 年度 総会開催のご案内

- 〔議案〕第 1 号議案：平成 21 年度事業・会計報告および会計監査報告  
第 2 号議案：平成 22 年度事業計画・予算(案)  
第 3 号議案：その他

記

日 時：平成 22 年 4 月 24 日(土曜日)13:00～17:00

会 場：ふじみ野市立サービスセンターホール会議室(地図は添付資料参照)

ふじみ野市霞ヶ丘 1 - 2 - 7 TEL:049-261-0353 東武東上線・上福岡駅下車

ご出席ご欠席に係らず、メール返信にて事務局宛にお送り下されますようお願い申し上げます。

なお、総会後に親睦会(会費3000円)を予定しておりますので、参加できる方はその旨ご連絡もお願いいたします。(事務局・緑川E-mail: [m-mido@tcat.ne.jp](mailto:m-mido@tcat.ne.jp))

また、ご欠席の場合は委任状を申し受けいたしません、総会における議決等の一切の権限を議長に委任していただいたこととさせていただきます。議決権はありませんが、賛助会員の方も参加できます。

【平成22年度会費納入のお願い】(年額3,000円)

4月17日までに、下記銀行口座にお振込みをお願いいたします。

振込銀行 = 埼玉りそな銀行 ふじみ野支店

口座番号 = 店番;674 口座番号;0570087

口座名義 = 「森作り集団菜事務局」

代表理事 小林 秀夫

## 【今月の活動報告】

4月10日(日)10:00より

参加者 / 小林、武田、土金、杉山、北村(行)、北村(真)、(敬称略)

活動担当者 / 豊島、緑川

### 「菜」春の研修観察会「渡良瀬遊水地の自然と歴史を学ぶ」

春の研修会が、4月10日(土)、8名の参加のもと行なわれました。参加者の普段の行き宜しきを得て、不順な今年の春にもかかわらず寒くもなく暑くもなく、風もない、時おり柔らかい春の日差しもある、ブラウス一枚の絶好の観察会日和でした。

10時 群馬県板倉町の「わたらせ自然館」に全員クルマ乗り合いで集合、展示資料見学などの後、やはり乗り合いで遊水地に移動、ほぼ中心の渡良瀬川堤防で遊水地概要を学習、見渡した後、ウォッチングタワー、駐車場に到着。その後、谷中湖畔、旧谷中村遺跡、ヨシ原を歩きました。





自然面ではなんといっても、圧巻は本州最大33平方キロのヨシ原。3月27日にヨシ焼きされた後の、期待した芽出しは春の遅れでいま一つでしたが。

参加者の感嘆の第二声は、一面に生えているヒメオドリコソウの群落。芝生一面に紫の海！「北海道のラベンダーみたい！」、しかしこれはヨーロッパ原産の帰化種、環境派の我々としては複雑な思いでした。

次いで感動は、あたり一面に黄色い花を咲かせているタンポポがほとんど日本タンポポであったこと！種的には「カントウタンポポ」と「エゾタンポポ」。しかし図鑑を参照するもついにその見分けは出来ませんでした。解説者から日本タンポポと西洋タンポポの生態の違い、春植物の日本タンポポがなぜこの遊水地に多いかなどの説明がありました。



珍しい植物では「トネハナヤスリ」、湿地に春だけ生えるシダ植物で絶滅危惧種。「ノウルシ」、スミレでは「スミレ」「ノジスミレ」「タチツボスミレ」「ツボスミレ」「アリアケスミレ」など。

遊水地は野鳥の宝庫、空にはヒバリが囀り、地にはウグイス、ツグミ、キジの鳴き声、姿もありました。もちろん猛禽類も。トンビが空を舞い、谷中湖の浮島にはチュウヒと思われる番いが繁殖活動中か？

歴史探訪では、旧谷中村役場跡、延命院共同墓地跡、雷電神社跡、村民住居跡などを経巡り、足尾鉍毒事件の悲劇の歴史を学習しました。環境派の皆さんだけに往時を偲ぶ思い入れも、これまで私が同行した人たちと違い一入と感じられました。

またヨシ原の中道には、熟年者には子どもの頃の原風景の、道産子(や居住体験のある方)には道内風景の懐かしさもこみあげた一日のようでした。

反省会をお望みの方も多かったです。クルマ使用のため行なわず、泣く泣く帰途につきました。



報告者: 豊島

3月28日(日)10:00より

第3フィールド作業

参加者 / 武田、渡部、吉田ひ、吉田あ、緑川、北村(み)、豊島、小林

一般参加者 / 北沢康文

(敬称略)

4月18日(日)10:00より

第3フィールド作業

参加者 / 神座、武田、渡部、吉田ひ、吉田あ、緑川、北村(み)、豊島、

杉山、小林

一般参加者 / 北沢康文

(敬称略)

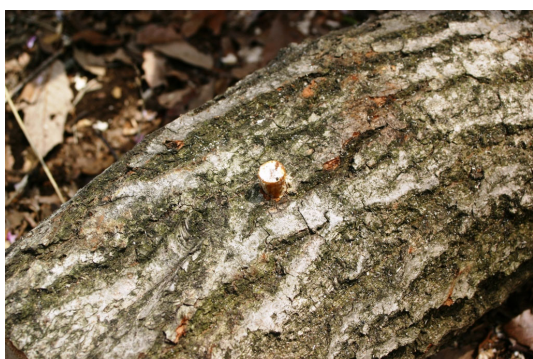
定例活動日の3月7日が雨の為中止となり、急遽予定を変更して2回の作業日を計画しました。

3月28日は、ほだ木の準備の為にコナラ4本とヤマザクラ1本を伐倒しました。4月18日には、伐倒し乾燥させておいたコナラとヤマザクラを玉切りして原木を作り、シイタケ種菌800個とナメコ種菌400個を植菌しました。



左の写真3枚は、伐倒したコナラとヤマザクラを長さ90cmの原木に玉切りし、電動ドリルで穴を開ける作業風景です。

その穴に種菌を挿してハンマーで打ち込みます。密に埋めると確実に菌が原木全体にまわります。1本の原木に約30~40個を植菌しました。



キノコ菌を原木に確実に活着させる為に、植菌した原木を寄せ集めて密にならべ、この上に今回はシラカシの枝葉で覆って仮伏せしました。合計1200個の種菌作業も午前中には終わりました。午後は、林床に花開くフデリンドウなどの野草を観察しました。

活動担当 小林

## 【次回の活動予定】

5月2日(日)10:00より

三芳フィールド作業

作業参加希望者は保険の手続きの都合上、**4月30日まで**に事務局にお知らせください。

森林保全活動担当

## 【お知らせ/募集】

### 参加者募集のお知らせ

森づくり集団「<sup>しほり</sup>菜」は、毎月第1週日曜日に所沢下富のくぬぎ山及び三芳町で里山の手入れをおこなっています。

会員のほとんどが森林インストラクターの資格を取得し、初めての方には危険防止のための注意事項、作業方法を丁寧にご指導いたします。

私たちは10年以上にわたり目的に応じた森の手入れをして、経過を観察し新しい発見、新しい取り組みを楽しんでいます。

また、植物の観察会、子供のための観察会、森の手入れ研修会などの企画計画していますので、興味のある方はぜひご参加下さい。

連絡先は下記事務局まで

## 編集後記

3月の活動日に伐採した山桜の花芽を確認して枝を持ち帰ってきました。まだ時期的には早いかもしれないと思いましたが家のバケツに入れておきました。今年は三寒四温どころではありません・・・

おかげでゆっくりとこの山桜は色づき始め、「わくわく」感が長く続きました。ソメイヨシノ等多くの桜も長い間楽しめ、今花吹雪が終わり山桜も赤い葉が目立っています。

何の花にしても手折った枝を持ち帰るのは心が痛みます。

先日秩父の駅で「江戸こひがん桜」と「日向みずき」が無料で配られていました。たっぷり抱えて電車に乗りましたがなぜか乗客の視線を「ちくちく」と感じました。



緑川

ヤマザクラはまだつぼみでした。  
3月28日撮影

## 季節の言葉

七十二候（しちじゅうにこう）…二十四節気をさらに5日づつ、初候・次候・末候に分けて、季節の動きや動植物の変化を知らせたもの。

- 立夏 初候 5/5 蛙始鳴 …蛙が鳴き始める。  
次候 5/10 蚯蚓出 …みみずが地上に出てくる。  
末候 5/15 竹笋生 …タケノコが頭を出す。  
小満 初候 5/21 蚕起食桑 …蚕が桑の葉を盛んに食べ始める。  
次候 5/26 紅花栄 …紅花が盛んに咲く。  
末候 5/31 麦秋至 …麦秋となる。

あ



第3フィールドに二つの巣箱を設置しました、楽しみですね。

2010.3.28 撮影

森づくり集団「<sup>しほり</sup>菜」事務局

アドレス info@mori-shiori.sakura.ne.jp

ホームページ <http://mori-shiori.sakura.ne.jp/>

事務局長 緑川睦子